

1. 宗田（ソウダ）文庫

旧蔵者のプロフィール

宗田一氏は、医学史・薬学史研究の分野においてすぐれた業績を残され、日本医史学会常任理事ならびに洋学史学会会長等の重職を歴任されたが、平成8年（1996年）7月に逝去された。

沿革・概要（文庫の目的・由来など）

宗田氏は、国際日本文化研究センター設立当初から、共同研究員として活躍された。氏の生前の希望により、宗田文庫が国際日本文化研究センターに保存・管理され、ひろく研究者の用に供せられることになった。

資料の特色・点（冊）数

「宗田文庫」は、日本医療文化史の資料コレクションである。書籍約 13,300 冊（和書 13,000 冊、洋書 300 冊）、画像資料・古地図等、室町期の古医書写本から明治期の洋装本、また各種文書・一枚刷・雑誌類等がある。分野も漢方、蘭学、洋学ほか、日本の医薬を中心とした医事文化の全分野におよび、氏の学問の深さと広さを反映している。

代表的資料として呉崑（ゴ コン）『脈語（ミヤクゴ）』（1619）、曲直瀬玄朔（マナセ ゲンサク）『済民記（サイミンキ）』（1631）、という江戸初期の漢書と和書のほか、『二十四気坐功法図』（年代不詳）、『飲食養生鑑』（江戸末期）などの興味深い画像資料が注目される。

2. 廣重徹（ヒロシゲ テツ）旧蔵図書

旧蔵者のプロフィール

廣重徹氏は、日本大学理工学部教授を務められた。すぐれた物理学史家であるとともに、日本における近代科学史研究の確立者でもあった。昭和50年（1975年）に46歳という若さで早逝された。

沿革・概要（文庫の目的・由来など）

廣重氏の旧蔵書は日本大学理工学部物理学研究室及び自宅に保管され、研究者に活用されていたが、広い範囲の多くの研究者に利用されることを希望しておられた御遺族は自然科学分野をも包含する学際的な日本研究を行っている国際日本文化研究センターへの寄贈を快諾された。

資料の特色・点（冊）数

廣重徹旧蔵図書は、物理科学を中心とする近代科学史および関連する文化諸領域の文献コレクションである。蔵書冊数は、約 3,700 冊（和書 2,700 冊、洋書 1,000 冊）である。欧文の文献は英・仏・独・伊・露の五か国語にわたり、近代科学を創った人びとの著作と伝記、数学と物理科学の歴史的研究の主要な著作が広範に集められていて、とくに英語とフランス語の文献において著しい充実ぶりをしめす。邦文の文献では、専門分野の著作のほかに、第二次世界大戦中から戦後にかけての科学論や科学運動、科学の制度化や科学政策などにかんする基本文献が網羅されている。

3. 野間文庫

旧蔵者のプロフィール

財団法人 野間科学医学研究資料館（Noma Research Archives for Science and Medicine）（昭和 58 年（1983 年）設立）は医学を中心とした科学史研究の振興を理念としている。同資料館は、ビタミン E の発見で広く知られ、医学史にも造詣の深かった故ハーバート・エヴァンズ博士の書庫に残された古典医学書の大部分を入手したのを機会に、西洋医学史関係文献の収集につとめ、西洋医学古書を 2,500 余点収集し、当該領域の専門文庫としてまとまった形となっている。

沿革・概要（文庫の目的・由来など）

国際日本文化研究センターでは、創立当初から医学史・科学史関連の共同研究会が行われてきた。また、センターは大学共同利用機関であり、その図書館資料は全国の研究者に活用されている。こうした要因が考慮され、野間科学医学研究資料館の閉館後（平成 15 年（2003 年）春）、その所蔵資料がセンターへ寄贈されることになった。

資料の特色・点（冊）数

野間文庫の蔵書冊数は約 7,500 冊（和書 1,600 冊、洋書 5,900 冊）である。ヴェサリウス『人体構造論』（1543）、ファブリチウス『解剖学全集』（1625）、カウパー『人体か棒学』（1739）という 16 世紀から 18 世紀にかけての代表的解剖学書のほか、産科、生理学、診断学、病理学、衛生学、神経学、精神医学など西洋医学の各分野における古典的著作が数多く揃っている。

4. 間宏（ハザマ ヒロシ）旧蔵コレクション

早稲田大学文学部教授 専門分野：経営史，労務管理史研究

経済学関係図書 10，530冊

5．高橋虔（タカハシ マサシ）旧蔵コレクション

同志社大学神学部教授

キリスト教関係図書 5，214冊